

教科名	家庭	学 年	3	週時間数	0.5
使用教科書	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する（教育図書）				
副教材等					

教科 の 目 標	○家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解をし、それらに関わる技能を身につけることができる。 ○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養うことができる。 ○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協同し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につけることができる。			
	○より良い生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中で色々な課題を解決する方法を学びます。 ○実習は班で協力して進めます。その過程で工夫し、創造する能力や物を作る技術を習得します。レポートにまとめるので期日までの提出があります。 ○授業はワークシート（プリント）を使用します。家庭科ファイルチェックや宿題があります。自分で調べたりしながら完成させ、期限を守って提出しましょう。			
授業 の 進 め 方				
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価	つ け たい 力	○家庭の基本的な機能及び家庭について理解している。 ○幼児、高齢者について理解し技能を身に付けている。 ○生活に必要な衣食住について理解し技能を身に付けている。 ○消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立について基礎的な理解をし、技能を身に付けている。	○生活課題について他の生活事象と関連付け、多角的に捉え、解決策を考えることができる。 ○実習や観察、調査、交流活動の結果等について、考察し、論理的に表現することができる。 ○他者の意見との相違点や共通点から、計画・実践について評価・改善することができる。	○地域の人々と関わり、協働しようとする態度を養っている。 ○生活を楽しみ、豊かさを味わい生活をよりよくしようとする態度を養っている。 ○日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。 ○将来の家庭生活や職業との関わりを考え学習に取り組むことができる。
	方 法	・定期テスト ・実習・課題の取り組み方 ・作品 ・ワークシートの内容	・定期テスト ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方 ・作品	・定期テスト ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方 ・作品
	学 習 の ポ イ ン ト	○普段から話をしっかり聴き、生活に必要な知識を覚え、技能を身に付けよう。	○生活課題について、調べ学習をしてわかったことや、学習した知識や技能を利用し、解決できるように考えていきましょう。	○どの分野にも意欲的に取り組もう。 ○仲間の考えを尊重しあい、学習に取り組もう。
	家 庭	○学習した内容を生活の中に取り入れよう。 ○実習の前は、手順などをしっかり確認してこよう。 ○生活に関するテレビの特集や新聞・雑誌を見よう。 ○レシピ集を積極的に取り組み、提出しよう。		
定期 テス ト範 囲	1 学期中間(5月下旬頃)			
	1 学期期末(6月下旬頃)	住生活と自立		
	2 学期中間(9月下旬頃)			

	2 学期期末(11 月下旬頃)	私たちの消費生活と環境
	学 年 末(2 月下旬頃)	1 年間で学習した全範囲

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	・私たちの住生活	・家庭内事故から家族を守ろう ・災害に備えた安全な住まい方を考えよう	・家庭内事故 ・安全な住まい
	5		・家族が暮らしやすい住まい方を考えよう	・自然災害への備え
	6			・平面図設計
	7			
2	9	・私たちの消費生活	・買い物をふりかえてみよう ・買い物の法律的な意味を知ろう	・意思決定のプロセス ・表示やマーク ・契約
	10		・販売方法、支払い方法を知ろう ・消費者トラブルを防ごう	・販売方法の種類と特徴 ・支払方法の種類と特徴 ・悪質商法
	11		・消費者を支える仕組みを知ろう ・消費者の権利について考えよう ・消費者の責任について考えよう	・消費者を守る法律や相談機関 ・クーリング・オフ ・8つの権利と5つの責任 ・グリーンコンシューマー
	12		・消費生活が社会に与える影響を考えよう ・環境に及ぼす影響を考えて行動しよう ・地域の食材を生かした調理をしよう	・家庭での省エネルギー ・地域の食材の良さ ・地域の食文化 ・地産地消 ・調理の計画と実習
3	1		・持続可能な社会を目指そう	・資源の消費と廃棄物 ・循環型社会 ・廃油石けん
	2			
	3			

教科名	英語	学 年	3	週時間数	4
使用教科書	「NEW HORIZON English Course 3」(東京書籍)				
副教材等	「Together Englis③」(学宝社) 「絶対評価プリント 英語3年」(教育同人社)				

教科 の目 標		○社会的な話題について、短い説明の要点をとらえることができる。 ○社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。 ○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 ○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書くことができる。		
授業 の進 め方		○どのような状況で新出文法を使うか考えていきます。 コミュニケーションの力を身につけるため、ペアワークなど様々な授業形態・方法を取り入れ、仲間の意見にふれ、自分の意見を深めていきます。 ○ALT を交えた授業を定期的に行っていきます。 ○正確な発音やリスニングの力を身につけるため、単語や英文のリピータ学習に声を出して取り組みます。 ○家庭学習を促し、定着度合を確認するため、問題集やプリントを用いて復習や単語、単元テストを行います。		
観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つ け た い 力	○ 英語の特徴やきまりに関する事柄を理解している。(知識) ○ 「話すこと」、「書くこと」において、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝えあったりする技能を身に付けている。(技能) ○ 「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。(技能)	○ 「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況に応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝えあったりしている。 ○ 「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして場面や状況に応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている。	○主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○ 「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況に応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝えあったりしようとしている。 ○ 「聞くこと」、「話すこと」において、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして場面や状況に応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えようとしている。
	方 法	○ 小テスト ○ 単元テスト ○ 定期テスト ○ 各種パフォーマンステスト	○ 授業における表現活動 ○ 授業プリント ○ 小テスト ○ 単元テスト ○ 定期テスト ○ 各種パフォーマンステスト	○ 授業における学習態度 ○ 各種パフォーマンステスト ○ コミュニケーション活動 ○ 自主学習への取り組み
学習の ポイント	授 業	○ 「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」において、必要な単語や文法事項を覚えよう。	○ 「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況を意識して、表現したり伝えあったりすることを大切にしよう。 ○ 「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等の必要な情報や概要、要点などを捉えよう。	○自ら進んで、英語を用いてコミュニケーションを図ろう。 ○ 「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況を意識して、表現したり伝えあったりすることを大切にしよう。 ○ 「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等の必要な情報や概要、要点などを捉えよう。
	家 庭	○ ノートを使って、単語や基本文を声に出しながら練習したり、英作文を自分で考えて書いてみよう。 ○ ワーク、プリントなど、毎回の宿題を忘れずに取り組もう。 ○ 単語テストや定期テストに向けて、コツコツと勉強に取り組もう。 ○ 映画や音楽など普段から英語に関心をもち、英語に触れる機会を増やそう。		
定期 テス ト範 疇	1 学期中間(5 月下旬頃)	Unit 0, Unit 1, Real Life English 1, Unit 2, Real Life English 2		
	1 学期期末(6 月下旬頃)	Unit 3, Real Life English 3, Stage Activity 1, Let's Read 1		

Ⅷ	2 学期中間(9 月下旬頃)		Unit 4, Real Life English 4 , Unit 5	
	2 学期期末(11 月下旬頃)		Real Life English 5 , Stage Activity 2, Unit 6, Real Life English 5 , Stage Activity 3	
	学 年 末(1 月中旬頃)		Let's Read 2, Let's Read 3 , 入試に向けての練習 (プリント等を使って)	
学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	Unit 0 Unit 1	・ これまでに学習した内容の復習。 ・ 英語の語の仕組みを学ぶ。 ・ 日本のポップカルチャーについて、経験や感想と共に伝えることができる。	・ 語い・表現の増やし方 ・ 現在完了 (経験用法)
	5	Real Life English 1 Unit 2	・ ディスカッションを聞き、自分の意見をまとめるために必要な情報を理解することができる。 ・ 人や環境にやさしいファッションの取り組みについて説明することができる。	・ 現在完了 (完了用法) ・ 現在完了 (継続用法) ・ 現在完了進行形
	6	Real Life English 2 Grammar for Communication 1 英語の歌 1 Unit 3	・ 社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。 ・ 現在完了形, 現在完了進行形の復習。	
	7	Real Life English 3 Grammar for Communication 2 Stage Activity 1 Let' s Read 1	・ 絶滅のおそれのある動物について知り、大切なことや取るべき行動について伝えることができる。 ・ 資料から読み取った情報について、事実と意見を分けて書くことができる。 ・ 日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。 ・ 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちを込めて音読することができる。	・ It is (for 人) to ・ want 人 to ・ let 人 動詞の原形

2	9	英語の歌 2 Unit 4	・ 防災・安全への意識を高め、地域の一員として取るべき行動を考えて伝え合うことができる。	・ 関係疑問文 ・ SV00 (what 節) ・ 現在分詞、過去分詞
	1 0	Real Life English 4 Unit 5	・ 相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 ・ ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について考えることができる。	・ 接触節 ・ 関係代名詞 who ・ 関係代名詞 that [which] (主格・目的格)
	1 1	Real Life English 5 Grammar for Communication 3 Stage Activity 2	・ 社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。	
		英語の歌 3 Unit 6	・ これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。	
	1 2	Real Life English 6 Grammar for Communication 4 Stage Activity 3	・ 国をこえて助け合うことの大切さを知り、願いや思いを伝えることができる。 ・ ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を理解することができる。 ・ 主張とその理由を明確にしながら、ミニディベートをすることができる。	・ 仮定法 (I wish ...) ・ 仮定法 (If 主語)
3	1 2 3	Let' s Read 2 入試に向けた練習(1) Let' s Read 3 入試に向けた練習(2) 入試に向けた練習(3)	・ エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。 ・ 伝記を読んで、人物の歩みや功績を読み取り、自分の感想を述べることができる。	・ 既習事項の総復習